

家具からの有害物質に規制なし

北海道新聞 社会面より

2011年(平成23年)5月18日(水曜日)

☆13版

社会 34

通販家具2割、指針値超

ホルムアルデヒド

都が調査 消費者庁に改善要望

東京都がインターネット通販の収納家具を調べたところ、2割から国の指針値を超える濃度の有害物質ホルムアルデヒドが空气中に放出されていたことが17日までに分かった。都内の消費生活センターには相談が相次いでおり、都は消費者庁などに改善を要望している。

調査は昨秋実施され、食器棚と本棚、タンス計30個が対象。室内に家具を丸1日放置した後の空气中のホルムアルデヒド濃度を測定したところ、6個が厚生労働省の

指針値(0.08PPM)を超えた。中には指針値の4倍以上のタンスもあった。

ホルムアルデヒドは家具の合板などに含まれ、涙や鼻水が出るなどのシ

ックハウス症候群の原因となる。内装建材や作り付け家具には建築基準法に基づく規制があるが、それ以外の家具は対象となっていない。

都内の消費生活センター

には収納家具のネット通販購入者から「目がチカチカする」「気分が悪い」などの相談が最近10年間で149件寄せられたという。

都は「ネット通販家具が体調不良の隠れた原因になっているケースもあると考えられ、消費者も部屋の換気などの注意が必要だ」と指摘している。